

Rotary International District 2830

Governor's Monthly Letter

2021-2022

ガバナー月信 1 月号



2021 年 12 月 18 日

田中常浩ガバナーエレクトご夫妻国際協議会参加激励会

目 次

- ガバナーメッセージ
- 田中常浩ガバナーエレクトご夫妻
国際協議会参加激励会報告
- コーディネーターNEWS
- ハイライトよねやま
- RI 日本事務局 財団室 NEWS
- 会員動向
- 出席率表
- 地区行事予定 2022 年 1 月・2 月

Let's Enjoy Rotary Life「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第 2830 地区ガバナー 成田秀治

国際ロータリー第 2830 地区事務所

ガバナーメッセージ



Let's Enjoy Rotary Life
「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第2830地区

2021-22 年度ガバナー **成 田 秀 治**

新年あけましておめでとうございます

第 2830 地区の皆様におかれましては、新しい年を迎えられ、心新たに 1 年間の決意を胸にスタートされたことと思います。今年こそは、新型コロナウイルスが終息し、皆様方の活動が日頃の活動に戻りますことを心より祈っております。

これまでの半年間、公式訪問では大変お世話になりました。各クラブの皆様方と近いところでご縁を結び、多くのことを学ばせて頂いたことは私にとりまして、大きな財産となりました。40 クラブには 40 の伝統と文化があり、それぞれ特徴を持った活動を通じて奉仕を実践しておられることは素晴らしいことだと思いました。この経験をもとに、これからの半年はミラクル 1200 を目指して会員増強を第 1 目標に頑張りますので、皆様方のご協力をお願い致します。

今年も皆様方お一人お一人のロータリーライフが素晴らしいものとなりますことを祈念申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。今年も一年宜しくお願い申し上げます。

1 月は「職業奉仕月間」

1 月は「職業奉仕月間」となっており、世界のロータリアンが職業奉仕をテーマとした活動を行っています。初めに、1987 年に R I 理事会で採択され、2014 年 1 月に修正された「職業奉仕に関する声明」をご紹介します。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わるなかで、奉仕の理想を活かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

1. あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人達や同業者、一般の人々、職業上の知己すべてへの公正な取り扱いも含まれる。
2. 自己の職業または、ロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。
3. 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。

クラブの役割は、

- たびたび職業奉仕を実践してみせること
- クラブ自身の行動に職業奉仕を活かすこと
- 模範となる実例を示すこと
- クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発すること
- 目標を実践、奨励することである。

クラブ会員の役割は、

ロータリーの原則に沿って、自ら、自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることである。（1987 年 R I 理事会）

以上のように、国際ロータリーは、職業奉仕に関する声明を発表し、世界のローリアンがこれをもとに各プロジェクトと活動を行っています。

我々ロータリアンは、日々の職業上の諸問題に取り組むと共に、社会の求めるニーズと捉え、日夜少しでも良い社会になるように努力しています。それは、ロータリーに入会する前と今とでは、少し変化があるのではないのでしょうか？その良い変化が、自らの職業にあらわれ、自らの職業にとどまらず、自らの職業上の手腕を活かし、人々が喜んで頂く活動に広がっていくことは、この上ない職業奉仕であり、まさに職業奉仕が活かされる素晴らしい姿ではないのでしょうか。

SERVE TO CHANGE LIVES



**奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために**



田中常浩ガバナーエレクトご夫妻
国際協議会参加激励会を終えて

2021-22 年度 2830 地区幹事
ガバナーエレクト壮行会
実行委員長 成 田 和 代

令和 3 年 12 月 18 日（土）田中常浩ガバナーエレクトご夫妻国際協議会参加激励会が開催されました。

田中エレクトご夫妻は当初アメリカで開かれる国際協議会へ直接出席する予定でしたが急遽、オンラインへの変更となり、壮行会から激励会へ形を変えて開催させて頂きました。

当日は悪天候の中、ホテル青森出席者 113 名、zoom 出席者 28 名誰一人欠席することなくスタートすることができ、これも出席者の田中ガバナーエレクトご夫妻を応援する気持ちが天候に勝った証ではないかと思います。

また、今年度の激励会はコロナ過ということもあり、ホテル青森においての対面方式に加え、感染症対策から対面では出席できないロータリアンも多数いることもふまえ、zoom によるオンラインを併用したハイブリッド開催とさせて頂きました。

今回のオンラインの併用に際しては zoom 出席者に激励会会場を見て頂くだけで、その声を直接、田中エレクトご夫妻に届けることが叶わなかったのは残念でしたが出席人数を見る限り、コロナ以前と同等の参加となり、盛会に開催することができたのではないかと考えています。

開会時には地区委員長の皆様方に急遽登壇して頂く形となりましたが、ロータリーの寛容の精神で快くお引き受け頂いたこと、源新直前ガバナーの乾杯の際のあたたかいお言葉には感服致しました。

成田ガバナーからは計画当初より、「応援したいという気持ちが大切でそれを素直に形に表してほしい」との言葉をいただき、できる限りの配慮をしたつもりでしたが行き届かない場面が多数あったことは否めません。それでも今回の激励会を開催するにあたり、地区幹事・地区事務所一丸となり、計画・実行に移していきました。

その思いが今回、激励会にご出席いただいた皆様方の開会中終始の満面の笑みとあたたかな激励の一言ひとことにつながり、田中ガバナーエレクトご夫妻への一番のエールとなったと思っています。皆さま、ご協力ありがとうございました。

Rotary
Region 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2022年1月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人っていて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向かって時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きます。それをロータリーに当てはめると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ローターアクト、インターアクト、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何らかの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらう具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願い致します。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文(石岡RC)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2022年1月号 No.2

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？ しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんがね。

その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなるのだ。クラブのことで、自分のことが優先するとの考えを持つ人がある。

「俺はいままでクラブに十分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けない傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員してみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに応えるのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

私がクラブ会長のとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブヘメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場に高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな応対には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う(クラブを辞める)ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ(フォロー)が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになれる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ボツネンと昼メシを食って帰るだけのロータリー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私ではなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言ってひるまなかった。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思ったことはやり遂げることが大切だ。

解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「KOC (Know Other Clubs) キャンペーン」(他クラブを知ろう)というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

- i 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
- ii メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を体験させることができる。
- iii 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

- i 高崎市外の高崎クラブにメークに行って、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- ii 高崎市外の高崎クラブにメークに行って、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブに誘ったケース
- iii 他クラブにメークに行って、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
- iv 他クラブにメークに行って、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員だった。

最近、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がその案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで150人を超えている。皆、メークのベテランになった。

その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦労して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう！』（幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊）から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.261

2021年12月14日
発行

1. 【訃報】理事長 齋藤直美氏 逝去

当会理事長の齋藤直美氏が、11月28日にご逝去されました。享年84歳でした。

故・齋藤理事長は1979年に豊田ロータリークラブに入会。2016-18年度国際ロータリー理事、2010-13年度国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長、2006-07年度第2760地区(愛知県)ガバナーなど、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては2018年9月から第七代理事長をお務めいただき、今年で2期2年目でした。理事長就任後は各国の学友会を精力的に訪問したほか、新型コロナウイルスの流行に伴い、奨学生生活や健康を真っ先に憂慮し、奨学会と

して迅速な対応と情報開示を指示するなど、本奨学事業のために心を尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

学友会から続々と寄せられた追悼メッセージは当会でとりまとめ、斎藤病院を通じてご遺族へ届けてもらいました。

なお、後任理事長については、役員候補者指名委員会にて指名を受けた理事長候補者を理事会に諮り、決定されます。



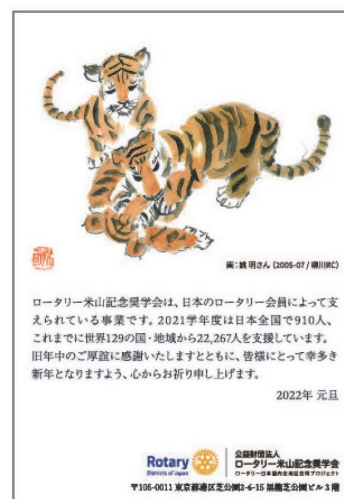
2. 2022年の年賀状を学友がデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年約4,700枚の年賀状を送っています。来年の年賀状は、水墨画家として活躍する米山学友、姚明さん(2005-07/柳川RC)によるデザインです。姚さんはこの作品について「子虎たちが戯れる様を描きました。日本では世界の中でも特に少子化が進んでいるので、新年には虎の家族のように子宝に恵まれ、日本の社会がより活気に満ちたものになるよう、祈りを込めました」と語ります。



姚明(ヤオ ミン):1967年、中国内モンゴル生まれ。1993年に来日、福岡教育大学大学院美術教育学研究科にて修士号取得、九州産業大学大学院芸術研究科にて博士号取得。

現在、NPO法人日中国際交流センター理事長、九州産業大学芸術学部非常勤講師、臨沂大学(中国・山東省)客員教授。日本や中国など世界各国の美術館・画廊などで個展28回。日本外務大臣賞、文部科学省文部大臣賞、中国駐日本大使館賞受賞。



3. 寄付金速報 — 送金はお早めに —

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.9%減)、約2,100万円の減少となりました。未だ前年同期よりも減少のまま推移していますが、先月までの寄付累計額から比較すると1千万円ほど減少幅が縮まり、少しずつではあり

ますが、寄付状況も好転しているように感じられます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 韓国米山学友会が2年目のZoom総会

11月20日、韓国米山学友会の総会が今年もオンラインで開催されました。韓国国内の学友だけでなく、日本、台湾、ネパール、タイから、また、当会からも水野副理事長、山崎副理事長、駒井常務理事、そして私、柚木が参加し、総勢74人となりました。



総会では、活躍した学友への感謝状授与、活動・会計報告、韓国米山学友会が支援する日本人奨学生と卒業生10人の近況報告、2023年に開催される「再会 in 関東」の告知が行われましたが、全体を通して日本人奨学生が同時通訳を行い、日本語で配信を聞くことができました。韓国米山学友会は今年10月に台湾米山学友会と友好関係を締結しており、署名入りの覚書と締結書も披露されました。

総会終了後、約1時間にわたり有志参加者で意見交換が行われました。コロナ禍にもかかわらず、学友会の活発な活動の様子が画面の向こうから伝わってきましたし、IT技術を駆使したスムーズな進行に感服しきりでした。

(事務局長 柚木裕子)

5. 第2820地区による世界的プロジェクト

第2820地区(茨城県)をホストとする Rotary TEAM JAPAN の呼び掛けにより、9月12日、世界のロータリアンがそれぞれの国や地域で、市民の方々とともに海岸や河川の清掃を一齐に行う一大イベント、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」が行われました。



しかしこの時、緊急事態宣言下にあった第2820地区では、12日当日は環境保全をテーマとするオンラインパネルディスカッションを行いました。パネリストには、米山学友5人が登場し、モンゴル・ベトナム・中国・韓国・ケニア、それぞれの国での環境問題と保全に向けた取り組みについて発表しました。

そして、本来であれば9月12日に行われる予定であった海岸清掃は、再延期の末、11月3日に開催。当日は地区内全58クラブのロータリアンとともに、米山奨学生・学友が大勢参加しました。海岸清掃に使われた軍手2,000双は、茨城ロータリーEクラブ会員となった徐佳鋭さんが奉仕として提供したものだということです。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は**税制優遇**を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか**有利な方式を選択**できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日(木) 当会着金分までが対象です。**



米山記念奨学会事務局は、12月28日(火)～1月5日(水)の間休業させていただきます。来年は1月6日(木)より通常業務となります。



RI 日本事務局 財 団 室 NEWS

2022年1月号
職業奉仕月間
発行日 12月24日



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 第50回ロータリー研究会

第50回ロータリー研究会および付随行事が、辰野克彦 RI 理事の招集により12月5日～8日に東京で開催され、シェカール・メータ RI 会長とユン・サンク-TRF 副管理委員長はバーチャルでのご参加となりました。

7日と8日にはメータ RI 会長のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(SERVE TO CHANGE LIVES)をテーマに掲げ、研究会が行われました。



- ロータリー財団地域セミナー

5日(日)には、JPタワーホール&カンファレンスに於いて、RRFCの主催で財団地域セミナーが開催されました。辰野克彦 RI 理事、三木明ロータリー財団管理委員、千 玄室公益財団法人ロータリー日本財団理事長、佐藤芳郎 RI 理事エレクトをはじめ、200名以上のご参加をいただきました。

「みんなのロータリー財団」と題したパネルディスカッションでは、第1地域羽部大仁 RRFC がモデレータを務め、出村知佳子第2510地区財団副委員長、中村公彦 ARRFC(第2760地区)、宮里唯子第2660地区ガバナーエレクトの3名がパネラーとなり、それぞれの地区で取り組んでいるプロジェクトや学友の活躍、補助金事業を通じて、ロータリー財団のすばらしさの実感とそれによる寄付推進との結びつきなど、地区、地域の「多様性」が生かされた、楽しい発表が行われました。



- メジャードナー午餐会/アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)式典

6日(月)には、ホテルオークラ東京2Fのオーチャードにおいて、2年ぶりとなる午餐会および AKS 式典が恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)の主催で開催され、日本中から200名を超えるメジャードナーが一同に会しました。



会場では記念写真の撮影が行われ、メジャードナーの顕彰や4組の AKS 会員へ認証状が贈られました。

<レベルアップされた AKS 会員>

- 大室 備様

<新 AKS 会員>

- 飯村 慎一様・聡子様 ご夫妻

- 吉田 雅俊様・麻耶様 ご夫妻

- 福原 有一様・恵子様 ご夫妻

My ROTARY Rレポート

寄付送金明細書

寄付・認証の手引き

寄付総額 世界上位3ヶ国

2021年12月17日現在

アメリカ	\$	37,911,650
韓国	\$	13,939,139
日本	\$	8,189,843

2021-22年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億2,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:9,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 231

AKS会員数 51

PHS会員数 1147

お知らせ

【2020-21年度年次報告が完成しました】

ロータリーの1年のハイライトをまとめた報告書をご覧ください。財務報告も含まれています。

[2020-21年度年次報告](#)

【医療業界でバリアフリーの必要性を伝える ～自身の障がいを受容し、チャレンジし続けるロータリー元奨学生】

ロータリーボイスに、野口万里子氏(2002～2003年度ロータリー財団奨学生)の記事が掲載されました。以下はその抜粋です。

私は、ロータリー財団の国際親善奨学生として、ドイツ・フランクフルトへ異文化体験留学をさせていただきました。大学卒業直後で22歳の時でした。

私自身オランダ生まれで2歳で帰国し、幼少時より外国は身近であり、海外で勉強するという夢を抱いていました。多くの国を見て、一人で外国へ行けるようになることを望んでいました。

2002年8月、大阪よりフランクフルト空港に到着。最初はとても大きな不安を抱いていました。本当にフランクフルトで生活できるのだろうか。なぜならば、私は生まれつきの聴覚障がいだからです。胎内時に母が風疹を発病したため、難聴児として出生しました。加えて、重度聴覚障がいにより独特の発音です。記事の続きは[こちら](#)

【ウガンダの若手活動家が気候変動について声を上げる】

ウガンダ出身の24歳の気候変動活動家、ヴァネッサ・ナカテ氏は、ダボス(スイス)で開催された2020年世界経済フォーラム後に国際的な注目を集めました。しかし、話題になったのは、彼女が気候危機について語ったことではなく、ダボス会議の報道から彼女の名前と写真が消えていたことでした。

ナカテ氏は、『タイム』誌の2019年パーソン・オブ・ザ・イヤーを受賞したグレタ・トゥーンベリ氏を含む5人の若い気候変動活動家の一人として、世界経済フォーラムでの記者会見に参加しました。しかし、AP通信が世界の報道機関に公開した写真には、欧州から参加した4人の活動家だけが写っており、唯一の黒人の気候活動家であるナカテ氏の写真は取り除かれていました。これに応じて作成したビデオが話題になり、ナカテ氏はそれ以来、気候変動の動きの中で「聞かれない声」を伝えることを自らの使命としています。記事の続きは[こちら](#)

【メータRI会長、COP26でマングローブ保護を各国に要請】

国際ロータリーのシェカール・メータ会長は、11月10日、グラスゴー(スコットランド)で開催された第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)へのロータリー代表団に参加し、沿岸地域で気候変動の影響を緩和するマングローブの復元など、ロータリーが環境問題に取り組むための方法を模索しました。

会議には、2週間にわたって100人近い各国首脳・政府リーダーが集まり、化石燃料の排出量に関する新たな目標を設定しました。ロータリーにとっては今回が初の参加となりました。記事の続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[EU一般データ保護規則\(GDPR\)について](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団委員会要覧](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)
(zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#) から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クラフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

ロータリーの運営、イベント、会員
に対する新型コロナウイルス
(COVID-19)の影響についての
最新情報は[こちら](#)

[予防接種に関する
国際ロータリーとロータリー財団の
見解表明](#)

【各国で実施された「環境にやさしい」11のプロジェクト】

ロータリーは長年、何千もの環境保護プロジェクトを実施してきました。環境は多岐にわたる活動に関連があり、この記事では、リサイクル、太陽光ライト、引水、水の保全、持続可能な農業、エコ調理コンロ、クリーンエネルギーに取り組む11のプロジェクトが取り上げられています。記事は[こちら](#)

【地元でのロータリーの推進に新しいリソースをご利用ください】

ロータリーの[ブランドリソースセンター](#)は、ロータリー独自の奉仕やインパクトについて会員がストーリーとして伝えていくためのリソースを得られる場所です。地元や近隣地域、世界各地でロータリーの認識を高めていくために、使いやすくなったブランドリソースセンターをぜひご利用ください。

「ロータリーのブランド」のセクションから、チラシ、プレゼンテーション、そのほかの資料作成に必要なロータリーのロゴ、色、フォントの使用についての指針をご覧ください。これらは、一貫性をもって資料を作成するために重要な要素です。

まず、ブランドリソースセンターのホームページから「ロータリーのブランド」のタブへお進みください。また、「お手伝いします」の部分からは、ロータリーブランドや資料の使用に関するよくある質問も掲載されています。続きは[こちら](#)

また、[ラーニングセンター](#)に「補助金と財団資金の管理」が新たに加わりました。ぜひご利用ください。（地区ガバナー上級編コース、および地区ロータリー財団委員会中級コース内）

【表彰】

- ロータリー財団功労表彰状 推薦期間：11月～12月
- ロータリー財団特別功労賞 推薦期間：1月～2月

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰」](#)よりお願いいたします。

【寄付記録について】

国際ロータリーで行っている世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、各種レポートへの反映に不具合が生じております。ご不便ご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。ご不明な点等ございましたらお知らせください。

リソース ＜資料＞

[年次基金とシェア](#)
[寄付者の認証](#)
[税制上の優遇措置](#)
[オンラインでの寄付](#)
[認証ポイント使用申請書](#)
[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)
[PHS パンフレット](#)
[PHS 入会フォーム](#)
[PHS 認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関する
プレゼンテーション

- [パワーポイント](#)
- [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

＜DDF の寄贈＞

ポリオプラス基金に DDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例：DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

- [DDF オンライン寄贈フォーム](#)

＜感謝状＞

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

ポリオプラス

【「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」の受賞者】

「2020-21年度ポリオのない世界を目指す奉仕賞」は、ポリオ根絶活動における多大な貢献をした会員に贈られる賞です。受賞した40名のロータリー会員の貢献を称えましょう。記事は[こちら](#)



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2021年 1月1日～ 12月14日	2020	2019	2018
常 在 国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	4	56	29	21
	世界合計	5	140	176	33

ロータリー平和センター

【マケレレ大学で学ぶロータリー平和フェロー】

2021年新たにロータリー平和センターとなったアフリカのマケレレ大学、カンパラ(ウガンダ)に新設されたロータリー平和センターに最初の平和フェローが到着し、アフリカにおける新たなロータリーの歴史が始まりました。この記念すべき最初の15名のフェローの中から6人のお話を紹介します。

記事の続きは[こちら](#)



【ロータリー平和フェローシップの申請】

2022年2月から、ロータリー平和フェローシップのオンライン申請書が開始されます。

地区は、プログラムを広報し、事前に候補者の相談に乗ることが推奨されています。候補者から連絡があった場合は、[ロータリー平和フェローシッププログラム](#)の情報を確認の上、5月15日までにオンラインの申請フォームから書類を提出できるようにご支援ください。



<申請の流れ>

- 2月～5月15日: 候補者がオンラインで申請書を提出する。(クラブの推薦書は任意)
- 5月15～31日: ロータリー財団が、受領した申請書類を確認。(不備のない申請書のみが地区の推薦段階に進む)
- 6月1日～7月1日: 地区は、候補者と面接し、オンラインによる推薦手続きを完了する。
(ロータリー平和フェローのオンライン推薦フォームは、My ROTARYとは別のシステムです。ロータリー平和フェローシップ委員長は、パスワードの設定が必要となります。フォームや記入はすべて英語となります。なお、ロータリー平和フェローシップ委員長を任命していない地区は、候補者を推薦することができません。)

※2021年12月現在の情報をもとに記載しています。

2月のオンライン申請開始に向け、現在資料を更新中です。最新情報にご留意ください。1月中には、各地区のロータリー平和フェローシップ委員長に情報をお送りします。(メールは英語のみ)。

<リソース>

- [ロータリー平和フェローシップ](#): プログラムの概要および「[修士号取得プログラム](#)」と「[専門能力開発修了証プログラム](#)」の詳細。各ロータリー平和センターの概要資料が掲載されているページ
- [ロータリー平和フェローシップの申請](#): 候補者の手続きや申請資格を説明したページ
- [ロータリー平和フェローシップ:ロータリアンの役割](#): 地区が、ロータリー平和フェローシップを推進するために担う役割について説明したページ
- [ラーニングセンターのコース](#)(英語のみ 役職者のみ参加可能なコースもあります。)
 - All About the Rotary Peace Fellowship
 - District Rotary Peace Fellowship Process
 - Engaging with the Peace Fellowship Program
 - Rotary Peace Fellowship – The Role of the District
 - Get Ready District Rotary Peace Fellowship Subcommittee Chairs
 - Embark Technical Training (Embark がロータリー平和フェローシップで利用するオンラインシステムです)など

[ラーニングセンター](#)では、Peace Fellowship で検索してコースを探してみてください。



補助金

【新型コロナウイルス(COVID-19)の影響】

《旅行、交通費を含むプロジェクトについて》

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響から、補助金を利用した国内外の旅行は12月31日まで認められておりません。そのため補助金承認後も12月31日まで旅行や交通費を含むプロジェクトは実施することはできず(奨学金プロジェクトは可能)、12月31日以降は状況次第となりますことご注意ください。(旅費、交通費に補助金を利用しない場合は、実施可能です。各国や自治体の案内もご確認ください。)

また、国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限」](#)や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

《参考》

- ロータリーによる新型コロナへの対応についての[最新情報](#)
- My ROTARY「[ロータリーの費用による旅行](#)」

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)
[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)
[補助金による旅行](#)
[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)
[グローバル補助金ガイド](#)
[地域社会調査の結果フォーム](#)
[地域調査の方法](#)
[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)
[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)
[ロータリーショーケース](#)
[プロジェクトフェア](#)
[補助金担当職員一覧](#)
[重点分野の担当職員](#)
[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)
[補助金センターのご利用ガイド](#)
[グローバル補助金申請のテンプレート](#)
[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)
[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)
[ロータリー平和フェローシップ](#)
[ロータリーの学友](#)
[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)
[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

【ロータリー財団の専門家グループ(カードル/Cadre)のメンバーになりませんか？】

ロータリー財団専門家グループはロータリアンのボランティアグループです。メンバーは、ロータリーの重点分野または財務監査における専門スキルや知識を生かし、ロータリー財団補助金プロジェクトの計画・実施にあたるロータリアンにアドバイスを提供します。

《活動内容》

- 補助金プロジェクトを計画・実施するロータリアンやロータリー職員の相談に乗る
- 補助金申請書の審査を通じてロータリー財団管理委員会を支援
- 補助金プロジェクトの実施状況を評価し、補助金が適切に使用されることを確実にする
- プログラム監査を実施し、補助金が、ロータリー補助金の「授与と受諾の条件」および資金管理の指針に沿って使用されていることを確認する
- ロータリーの補助金モデルの評価、およびその他のロータリーのイニシアチブやパートナーシップと関連する評価と面談を実施

ロータリー財団の専門家グループのページは[こちら](#)

ご関心のある方は、2022年2月28日
までに、ぜひお手続きください！

日本での登録者が少ないため、日本国内で実施されたプロジェクトの現地視察や監査などをしてくださる方が不足しています。正会員で、ロータリーの重点分野の一つ、または財務監査において2年以上の職務経験を有していることが条件※となります。専門家としてのご意見となりますので、補助金に関する知識や経験は必ずしも必要ありません。(財務監査については重点分野を問いません。会計関係の有資格の方がご登録いただけます。)

※例：教師、医師、外科医、小児科医、マイクロファイナンスアドバイザー、エコロジスト、環境保護士、WASH(水と衛生のプログラム)経験のある土木技術者、難民専門/難民移民関連の弁護士/弁護士、紛争解決調停者、公認会計士・税理士など監査のご経験がある方。

ご登録は、[補助金センター](#)の「専門家グループ」のページから申請し、審査、オンライン研修を経てメンバーとなります。



登録画面「ここから始めましょう」を開くと「全般」のタブが開き、あなたの情報が自動的に表示されています。右下の「次へ」をクリックします。

「Cadre Membership」のタブが開きますので、専門分野の経験などの詳細を入力し、提出します。CVなどのアップロード(添付)を忘れずお願いいたします。

お問い合わせは財団室(メール：RLJPNTRF@rotary.org または、ヨギタ・シャルマ Yogita.Sharma@rotary.org)まで。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。

2021年11月25日～12月23日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2760	豊橋	高山 景一	2690	岡山	末長 範彦
2510	岩見沢	江本 勝典	2630	岐阜 サンリバー	塩津 健
2500	釧路 ベイ	植原 元晴	2620	浜松 ハーモニー	中村 皇積
2550	宇都宮 90	飯村 慎一	2500	帯広北	細川 吉博
2770	浦和	細淵 雅邦	2670	坂出東	前田 直俊
2580	東京板橋 セントラル	猪飼 昭彦	2840	前橋	山田 邦子
2830	八戸南	長嶺 康廣	2710	徳山	石川 良興
2750	東京西	鷹野 保雄	16名(匿名含む)		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)
[My ROTARY 写真&動画](#)
[Rotary Video\(日本語\)](#)
[ロータリーの動画\(vimeo\)](#)
[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

11～12月	ロータリー財団功労 表彰状 推薦期間
1月1日～ 2月28日	ロータリー財団特別 功労賞 推薦期間
2月23日	ロータリー 創設記念日

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RLJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

※大変恐れ入りますが日本事務局
は、12月29日から1月3日まで、
年末年始休業となります。新年は
1月4日から業務再開いたします。

【ご挨拶】

向寒の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わたくし事で甚だ恐縮ですが、本年12月31日をもちまして国際ロータリー日本事務局を退職致すこととなりました。

2012年5月に着任致しましてから早9年半が経ちました。皆様のご支援とご指導により、また優秀なスタッフにも助けられ、ここ数年は事務局の地位向上、安定した運営が出来るようになりました。現在の事務局は恵まれた環境を与えて頂いており、大変充実した日々を過ごさせていただきしました。皆様には心より感謝申し上げます。今後とも国際ロータリー日本事務局に変わらぬご厚誼、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍でまだまだ落ち着かない日々が続いておりますが、体調など崩されませんようご自愛下さいませ。末筆ではございますが、改めて長年のご厚情に深謝するとともに皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明

ロータリー財団 2021-22年度 11月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,144	66.35	142,259.16	18,319.86	112,000.00		272,579.02	187%
2510	2,404	59.75	143,632.56	6,825.67	36,990.99		187,449.22	97%
2520	2,132	37.45	79,851.43	9,084.74	27,964.91	1,050.00	117,951.08	119%
2530	2,216	38.09	84,397.00	13,329.94	18,372.67		116,099.61	75%
2540	1,113	20.43	22,741.76	582.65	877.19		24,201.60	59%
2550	1,665	48.57	80,871.12	14,202.33	29,000.00	13,585.95	137,659.40	106%
2560	1,999	70.03	139,988.74	21,885.80	1,216.55	1,050.00	164,141.09	92%
2570	1,562	66.39	103,696.42	24,870.69	21,205.00		149,772.11	89%
2580	2,837	91.68	260,088.77	107,041.81	88,225.57		455,356.15	75%
2590	1,884	80.24	151,164.17	28,103.68	23,000.00	3,000.00	205,267.85	83%
2600	1,871	71.14	133,108.67	33,878.58	10,086.67	0.00	177,073.92	95%
2610	2,497	47.03	117,437.67	14,201.60	2,617.86	0.00	134,257.13	82%
2620	2,818	58.48	164,802.65	31,620.65	26,026.31	1,050.00	223,499.61	89%
2630	3,030	61.39	186,002.22	17,728.47	7,161.09	7,699.65	218,591.43	84%
2640	1,638	49.13	80,474.58	11,783.39	3,088.45		95,346.42	95%
2650	4,292	77.59	333,012.31	52,870.62	23,739.49		409,622.42	88%
2660	3,455	107.24	370,511.41	118,934.73	40,309.09	18,136.65	547,891.88	96%
2670	2,890	60.23	174,057.04	31,910.84	31,136.36		237,104.24	117%
2680	2,585	65.06	168,180.06	22,410.11	41,400.00		231,990.17	81%
2690	2,897	83.25	241,182.45	46,144.04	11,190.91		298,517.40	94%
2700	3,038	50.06	152,088.02	8,887.40			160,975.42	93%
2710	3,089	67.99	210,008.32	43,820.55	61,140.69		314,969.56	100%
2720	2,316	35.55	82,330.45	6,998.02	12,414.03		101,742.50	77%
2730	2,311	24.43	56,464.46	6,660.40	2,000.00	1,050.00	66,174.86	108%
2740	2,073	28.58	59,251.04	11,237.28	106,100.00		176,588.32	216%
2750	4,493	113.86	511,590.85	80,234.09	216,282.63		808,107.57	106%
2760	4,624	101.36	468,680.44	89,168.77	95,144.87	1,050.00	654,044.08	113%
2770	2,327	122.09	284,099.02	58,514.19	29,199.00		371,812.21	83%
2780	2,248	65.62	147,517.95	29,062.72	10,207.00		186,787.67	84%
2790	2,650	80.56	213,470.88	39,152.15	36,097.44		288,720.47	84%
2800	1,507	72.02	108,539.50	1,228.50	5,000.00		114,768.00	85%
2820	1,837	76.76	141,016.92	23,405.42	16,508.77	1,050.00	181,981.11	83%
2830	1,099	39.87	43,821.06	8,737.29	4,070.00		56,628.35	67%
2840	2,059	52.16	107,392.81	16,591.49	13,381.84		137,366.14	105%
日本	83,600	68.94	5,763,731.91	1,049,428.47	1,163,155.38	48,722.25	8,025,038.01	95%
世界	1,162,763	38.95	45,293,498.42	11,056,233.93	19,773,815.92	7,476,848.37	83,600,396.64	
日本の割合	7.19%	-	12.73%	9.49%	5.88%	0.65%	9.60%	

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はありません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

会員動向

《 2021 年 11 月 》

【入会者】



岡山 康広
(六ヶ所)
11 月 1 日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
八戸西	及川 久	11 月 30 日

【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



澤上 勝（おいらせ）
11 月 5 日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



宮川 佐紀男
(むつ)
PHF



村中 一文
(むつ)
PHF+1



蛸名 一孝
(三沢東)
PHF+1



吉田 耕悦
(三沢東)
PHF+1



木村 康仁
(五所川原)
PHF



小林 大眞
(弘前)
PHF+2



三上 貴生
(弘前)
PHF+2



土産田 三徳
(弘前西)
PHF+3



渡邊 明彦
(青森)
PHF

2021年11月会員数の増減及び出席率表												
グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ	3	83.00									
	むつ大畑R衛星			53	0	0	53	2	52	1	0	26.42
	野辺地	4	100.00	14	0	0	14	2	14	0	0	100.00
	七戸	3	88.90	10	0	0	10	2	10	0	0	30.00
	東北	3	64.60	17	0	0	17	2	16	1	0	93.75
	むつ中央	3	72.00	24	0	0	24	0	23	1	0	12.50
	六ヶ所	4	49.00	31	1	0	32	0	30	2	0	33.33
	7クラブ小計			149	1	0	150	8	145	5	0	
東第二グループ	三沢	4	67.59	24	0	0	24	0	24	0	0	37.50
	十和田	4	61.00	37	0	0	37	8	34	3	0	27.03
	十和田東	4	88.00	27	0	0	27	2	27	0	0	55.56
	おいらせ	3	76.00	10	0	1	9	1	9	1	1	40.00
	三沢東	4	73.53	36	0	0	36	5	36	0	0	33.33
	十和田八甲	3	89.47	83	0	0	83	1	83	2	2	32.53
	6クラブ小計			217	0	1	216	17	213	6	3	
西第一グループ	五所川原	3	52.10	54	0	1	53	6	54	0	1	75.47
	金木	4	84.00	13	0	0	13	2	13	0	0	7.69
	鰯ヶ沢	2	73.30	15	0	0	15	2	14	2	1	33.33
	鶴田	3	66.70	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	57.90	30	0	0	30	2	29	2	1	36.67
	つがる	3	68.75	32	0	0	32	0	31	1	0	25.00
	五所川原イブニング	2	52.00	31	0	0	31	7	30	1	0	41.94
	7クラブ小計			183	0	1	182	20	179	6	3	
西第二グループ	弘前	5	68.10	47	0	0	47	3	46	1	0	38.30
	弘前東	3	79.20									
	弘前東桜華R衛星	2	55.00	23	0	0	23	6	9	15	1	26.09
	板柳	2	92.00	12	0	0	12	0	12	0	0	33.33
	黒石	4	81.00	20	1	1	20	1	19	2	1	60.00
	大鰐	3	75.00	10	0	0	10	0	10	0	0	30.00
	弘前西	2	100.00	28	0	0	28	3	28	0	0	75.00
	平賀・尾上	2	45.50	11	0	0	11	0	11	0	0	27.27
	弘前アップル	2	100.00	22	0	0	22	3	22	0	0	63.64
	8クラブ小計			173	1	1	173	16	157	18	2	
中グループ	青森	3	73.50	91	0	0	91	5	87	4	0	76.92
	青森北東	2	82.60	24	0	0	24	3	24	0	0	66.67
	青森中央	2	71.40	7	0	0	7	1	6	1	0	28.57
	青森モーニング	2	71.40	21	0	0	21	2	21	0	0	47.62
	4クラブ小計			143	0	0	143	11	138	5	0	
南グループ	八戸	3	100.00	61	0	0	61	0	60	1	0	44.26
	八戸東	4	100.00	50	0	0	50	0	50	2	2	58.00
	三戸	3	100.00	9	0	0	9	0	9	0	0	100.00
	五戸	3	87.60	11	0	0	11	0	11	0	0	63.64
	南部	3	77.00	10	0	0	10	0	10	0	0	50.00
	八戸北	4	69.40	40	0	0	40	9	38	2	0	47.50
	八戸南	2	70.90	31	0	0	31	1	31	0	0	87.10
	八戸中央	2	58.50	22	0	0	22	5	22	1	1	45.45
	八戸西	3	51.40	37	0	1	36	19	35	4	3	39.47
	9クラブ小計			271	0	1	270	34	266	10	6	
合 計				1,136	2	4	1,134	106	1,098	50	14	47.22
				期首会員数は2021年6月末会員数です								
				7月1日の会員数は1,109名です								
				11月末現在の入退会人数です								

地区行事予定			
2022年1月 職業奉仕月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(土)		
2	(日)		
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)		
9	(日)		
10	(月)		
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		
17	(月)		
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)		
22	(土)	会員増強に関する会議	ホテル青森
23	(日)		
24	(月)		
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)	新春米山の集い(～30日)	八戸方面バス旅行
30	(日)	RLI委員会	リンクモア平安閣市民ホール
31	(月)		

地区行事予定			
2022年2月 平和構築と紛争予防月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)	第1回全国ローターアクト委員長及びローターアクト 代表会議	対面方式（AP新橋）+Zoom
7	(月)	田中エレクト国際協議会（～15日）	オンライン
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)		
13	(日)	RLI委員会（ディスカッションリーダー研修）	リンクモア平安閣市民ホール
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)	南グループIM	八戸グランドホテル
20	(日)	ガバナー指名委員会 第2回諮問委員会（田中GE国際協議会報告）	ホテル青森
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)	2022-23年度 地区チーム研修セミナー（DTTS）	ホテル青森
27	(日)	東第2グループIM	きざん三沢
28	(月)		